

之、之等の革命的進歩の推進を、指導精神を従来の傳統に止らされて、共同闘争を遂行し難き實情にあると併せて考へるとき、この階級の強大化の緊急なることを痛感せざるを得ない。特に最近大衆的産業合理化の遂行と共に伴ふ無階級の窮乏化により、全労働大衆の階級化が促進せられたるとき、かゝる大衆を組織し訓練すべき日常闘争の主動部隊の無力化は稍もすれば全労働大衆の支持と信望を失ひ、更に之を政治闘争に動員するには益々微力な結果となるのである。しかる現下の情勢は労働組合に對してかゝる使命を要求して居る。かくて全労働大衆を闘争へと動員する大衆組織の確立、階級的統一戰線の形成、政治闘争への積極的進出、現下の情勢に對する指導精神の確立、之等は我黨労働組合黨の問題となつてゐる。一切の實際も理論もこの任務の下に統一されての階級的意識を見出す。

### 二、極左派及び右翼の運動に對する批判

我國の労働組合運動に於ける極左派及び右翼の對立は最近の特殊な特徴と見らるべきものである。由來労働組合運動に於ける左右派の對立は階級大衆の先進階級運動團に於て見出し得た世界傾向であつた。これらの階級運動團は、階級大衆に於て既に労働組合運動の過渡期を經過し、その組織は階級的多数を占め、國內階級統一の第一期を完成し、かくて相對的安定に對抗して一大政治闘争に躍進すべき段階に到達してゐた。かくて國際労働組合總連の職權を擴張するアムステルダムとモスコウ兩インテリナショナルの政治闘争の方針に従ひ、先進階級運動團の内部に於ける政黨の分裂と相俟つて労働組合運動團に於ける左右派の分離對立は不可避的に促進せられたのである。だが、最近に至つて階級第二期の矛盾は激化し來て、これが必然的に國內階級の統一を促しつゝある。

我國の労働組合運動に於ては、極左派と右翼との對立は、之等の先進階級運動團に於ける對立と之の性質を著しく異にするものがある。即ち、

一、我國の労働組合運動が漸く分散状態から統一運動に入らんとするとき、同時に政黨樹立の運動を展開した、労働組合が政黨的職分を脱却せんとし、その過程に於て極左派と右翼との對立は急起された。従つてこの對立は過渡期的對立に過ぎない。

二、しかも、この統一戰線の過渡期に於ては、極左派と右翼との對立は、之等の先進階級運動團に於ける對立と異なる過渡期的對立を醸成して却つて労働組合に百パーセントの政黨的職分を強固したので、その結果極左派と右翼との對立は全線に亘り擴大した。

三、だが、之等の限れる指導が行はれないに拘はらず、組合運動の統一戰線は労働組合自身に漸く大衆的基礎擴大と共に、大衆の勢力により急速に生長しつゝある。特に今後世界資本主義の階級的激化は世界的に大衆の統一戰線への勢力を増大せしめるが、我國の組合運動の統一は之と並行して促進せらるべきであらう。

四、我黨は極左派及び右翼の對立を却る如く評價すると同時に、斯る對立は何等の實際的效果をなすことと黨面の必要なる階級項目について實證すること出来る。

五、大衆組織の確立は現下の緊急項目である。だが、此點に就いて、極左派は自己の不自然なる階級主義立場を大衆に強要した結果、大衆から遊離し、少數の思想的グループと化し去つた。また右派は極左派との對立上、徒らに右派意識を強調して大衆の自然生長性を抑壓した結果大衆の分裂を重たした。

### 二、階級的統一戰線の結成

極左派階級は統一戰線なる「左翼外部の結成」により、左翼階級下の統一戰線を夢想した。しかし、かゝる階級的階級指導精神を基礎とする統一戰線の失敗は後の事實の物語する所である。之に對して右翼には所謂右翼階級の組織があるが、之とも今後我國の労働組合運動を階級別組合職能に對して統一の促進せられつゝあるために、組合運動の上に於ける階級的效果は何等認められぬ。

### 三、政治闘争への積極的進出

我國に於ける階級階級の政治的進出は、全無階級大衆の政治的進出共同戰線形成の過程に即して行はれた。この進出の過程に於て、従來政黨的職分を保持し來つた労働組合がその主動的地位に立つたことは當然であるが、この過程は同時に労働組合の政黨的職分からの階級の過程としての歴史的意義も持たした。然るに、かかる分化過程に於て、極左派の組合は労働組合の經濟闘争に於ける職分を否認し、全面的經濟闘争の名の下に一切の經濟闘争を無視して強みなかつた。かく極左派の政治的進出は一時目覚ましいものがあつた。その大衆的基盤たる労働組合の崩壊と共に、その政治闘争は自らに觀念的發展を遂げに過ぎなかつた。また左翼の政治的進出を見るに、大衆の政治闘争への生長を阻止し、労働組合に對しては單に政黨的職分からの職能を強要して、労働階級の當面する經濟闘争への場合を無視してゐる。その進出は選舉闘争への労働者の参加、大衆政黨に對する形式的支持の限度を出でない。

### 四、指導精神の確立

従來極左派と右翼の對立の代表的なものは指導精神の對立であつた。だが彼等の指導精神は、現下の日本資本主義の階級の正確なる認識と我國労働組合運動の真正なる分析批判の上に立つて、徒らに對立意識を強調することをその歸結とする形式的なるものに過ぎなかつた。かく指導精神の形式的確立は、外面的に階級の統一を示す如くであるが、實は大衆の生長性を無視し、従つてそこには階級大衆の遊離と分裂を繰り返へされることとなる。我等は指導精神の確立を過少評價するものではないが、現下の階級情勢に於ては、一面大衆の生長性に即し且つ一切の對立の傾向の排除と主眼とする階級的の大衆的基礎に於ける指導精神の確立のみが、かかる形式的確立を克服するものたるを信ずる。

### 六、全國労働組合同盟の地位と使命

#### 「合同」の意義及び現段階に即する大衆的階級組織に就いて

#### 一、我等の「合同」の意義

世界資本主義の階級第三期に於ける新しき矛盾の擴大激化と之に伴ふ我國労働大衆の急進する階級への進出の傾向に即し、更に我國労働組合運動の階級の發展を前にして我等の全國労働組合同盟は結成された。我等の同盟はかかる運動の階級の發展を遂行する歴史的使命を遂行するために必要なる階級力の集中をその根柢とするものである。この「合同」の持つ階級的意義は全國労働組合同盟の將來への發展の基盤をなすものである。

出來我國に於ける労働組合職能統一の運動は資本主義の攻勢の激なる増大と共に、屢々實踐的試みを重ねたが何れも何等の効果を収めずして終つた。之が原因は階級的には指導精神の對立に依りて分散状態が合理化されたこと、及び、階級的には大衆の急進する生長にも拘らず當然に職能の要望と階級が階級的に得ないことに求められるが、更に技術的には單なる階級に提はれられずして現實的效果に對する見識のないことによる。従來、指導精神の對立の激化の只中に於て屢々合同提唱がなされたが如き。また、現在する各労働組合の傳統と組織には何等の階級意識も拂はずして、全合同が提唱せられたる如き、單なる形式的提唱以上に出でない合同協議が著はれたる如き、甚だしきは幾多の全國的階級が如き階級に提はれたる如き、何れもこの類であつた。

我等は今後に展開されるべき労働組合職能統一の基盤は、名實相俟ふ全國的産業別組合の確立と之を基礎とする強力なる全國的階級の階級に置かなければならぬ。だが現下の我が労働組合運動は階級力なる全國的産業別組合の確立を見ないので、地方の組合乃至は全國的階級の媒介を必要とする。然るに一面我が労働組合運動はかかる労働組合職能統一の傾向と同時に政治階級に進出すべき使命を課せられ、且つ資本主義の階級の激化に伴ひ巨大なる未組織大衆の闘争への進出を促してゐる關係上、中央集權的なる地方的組合乃至は全國的階級はそれ自體に於て重要な階級の使命を負ふに至つてゐる。現下の階級に於てはこれらの有効なる階級なくしては、大衆獲得と従つての産業別組合は不可能の状態にある。

かかる階級は、従來の合同運動の技術的缺陷の批判と共に、我等に、全國的階級及び地方的組合の可能なる合同による階級の擴大強化によりて同盟階級の大衆獲得と之を産業別組合への影響力を大